

パネルディスカッション III

診療所が面白い~オンリーワンの〇〇〇〇

■発表者

青森県:深浦町国民健康保険深浦診療所長	吉岡 秀樹 氏	… p 1
大阪府:豊能町国民健康保険診療所 診療所長兼歯科・歯科口腔外科医長	永川 賢治 氏	… p 21
島根県:隠岐の島町国民健康保険都万診療所医師	森江 祥平 氏	… p 49

■講評

国診協副会長	中村 伸一
福井県:おおい町国民健康保険名田庄診療所長	

■司会

国診協 診療所委員会委員長	和田 智子
秋田県:にかほ市国民健康保険小出診療所長	

診療所が面白い～オンリーワンの〇〇〇〇

限界自治体の町に1箇所だけの医療機関だからこそできる

地域包括医療

青森県：深浦町国民健康保険深浦診療所長

吉岡 秀樹

深浦町は、日本海と白神山地に挟まれた町である。町は、南北に約 90km と長い。

日本海沿岸を通る国道 101 号線と JR 五能線が主な動線で、人々は、沿岸沿いと白神山地から注ぐ川沿いに暮らしている。人口が毎年数百人ずつ減少し、7000 人ぐらいとなった。

高齢化率 50% を超えて久しい。すなわち全国に 50 数市町村ある「限界自治体」の一つである。80 歳以上の高齢者の一人暮らし、夫婦二人暮らしが多いのが特徴である。

かつて北前船で栄えたこの街には開業医院が数軒あった。外科医院や婦人科医院があった時代もあったらしい。

町の中心部と南側にはそれぞれ一軒ずつの開業医院が、北側には町立診療所（関診療所）があり、広い町を3箇所の医療機関でカバーしていた。

しかし、開業医院の医師たちも高齢化し、2017 年に 2 軒あった開業医院は次々に閉院となった。同年、町立診療所の医師も肺がんとなり退職。町には、一時、医師の空白状態が起きた。

唯一の医療機関となった町立診療所は、数ヶ月、1、2 年単位で勤務する「流し」の医者でなんとか最低限の状態を維持し続けた。

深浦町に医師が来ないのはなぜなのか？

青森県内唯一の医師養成機関である弘前大学医学部医局からの医師派遣は、主として弘前市から 1 時間前後までの自家用車通勤圏内である。それ以上の距離への派遣は、しっかり腰を据えて赴任して働ける市部（八戸市、十和田市、三沢市、おつ市、函館市など）に限られる。総合診療を積極的に実践する医局もない。

深浦町は、弘前市から約 70km、自家用車で 1 時間半～2 時間を要することもあり、これまでの歴史の中で、弘前大学からの医師派遣は一度もない。

それでは、青森県からの自治医大卒業医師の派遣はどうか？

これまで何度か内々で派遣が検討されたものの、それぞれの問題があり実現には至らなかった。若い自治医大卒業医師にとっては、津軽地域は弘前大学医局の力が強く、深浦町から後方病院への患者紹介などを考えると、四面楚歌になりかねないと感じられたのだろう。

町は、医師の確保が曖昧なまま、保健センター・包括支援センター・診療所を町の中心部に建設集約化することにし、2018 年に深浦診療所が開院した。

後方病院までも 50km 以上で、町で一軒だけの「ボツンと一軒」医療機関である。

こういう後方病院まで遠い医療機関だからこそ、総合診療医の力が発揮される。包括医療、老年医療、プライマリケアだけではなく救急医療など多面性の医療が求められる。

一軒しかないからこそ、フットワークの良い動きができています。みんな顔の見える関係だ。

2023 年 4 月、青森県から自治医大卒業義務年限内医師の派遣も開始された。

診療所が面白い

～オンリーワンの○○○○

**限界自治体の町に1箇所だけの医療機関だからこそ
できる地域包括医療**

2025年1月18日（土）

深浦町国民健康保険深浦診療所

吉岡秀樹

地理的な特徴

青森県と深浦町

深浦診療所



人口動態的特徴

深浦町の人口と高齢化率

- 人口： 6,812人（2024年11月現在）
- 高齢化率： **52.14%**
- 高齢者一人暮らし、二人暮らしが多い
- 特別養護老人ホーム 4箇所
（うち3箇所の嘱託医）
- 老人保健施設 1箇所（鯨ヶ沢町の医療機関）
- グループホーム 5箇所

本県の高齢化率の高い順(2024年2月)

		高齢化率(%)	前年比(ポイント)
1	今別町	58.78	1.76
2	外ヶ浜町	52.46	1.04
3	深浦町	52.14	1.07
4	新郷村	50.24	0.22
5	佐井村	47.68	-0.01
6	中泊町	47.35	1.43
7	風間浦村	47.15	0.90
8	鯨ヶ沢町	45.81	0.70
9	田子町	45.39	0.50
10	大鰐町	45.24	0.63
11	平内町	43.84	1.05
12	三戸町	43.50	0.59
13	蓬田村	43.38	1.05
14	七戸町	42.70	0.66
15	五戸町	42.33	0.70
16	横浜町	40.56	0.78
17	野辺地町	40.48	0.60
18	つがる市	40.43	0.79
19	南部町	40.21	0.59
20	西目屋村	40.18	-0.26
21	板柳町	39.25	0.58
22	東通村	38.93	1.20
23	東北町	38.80	0.56
24	鶴田町	38.58	0.65
25	田舎館村	37.19	0.72
26	五所川原市	37.07	0.63
27	大間町	36.35	-0.11
28	階上町	35.60	0.83
29	黒石市	35.47	0.76
30	十和田市	35.46	0.71
31	平川市	35.16	0.29
32	むつ市	35.09	0.60
33	県平均	34.91	0.53
34	六戸町	34.16	0.41
35	藤崎町	33.85	0.46
36	弘前市	33.59	0.48
37	青森市	32.99	0.53
38	八戸市	32.23	0.48
39	六ヶ所村	28.57	0.59
40	おいらせ町	28.20	0.39
41	三沢市	27.63	0.24

※県国民健康保険団体連合会調べを基に本紙作成

(黄色は高齢化率が下がった自治体)

地理的な特徴

PCI可能な後方病院

- つがる総合病院

距離 55km

救急車搬送 1時間10分

- 弘前大学医学部附属病院

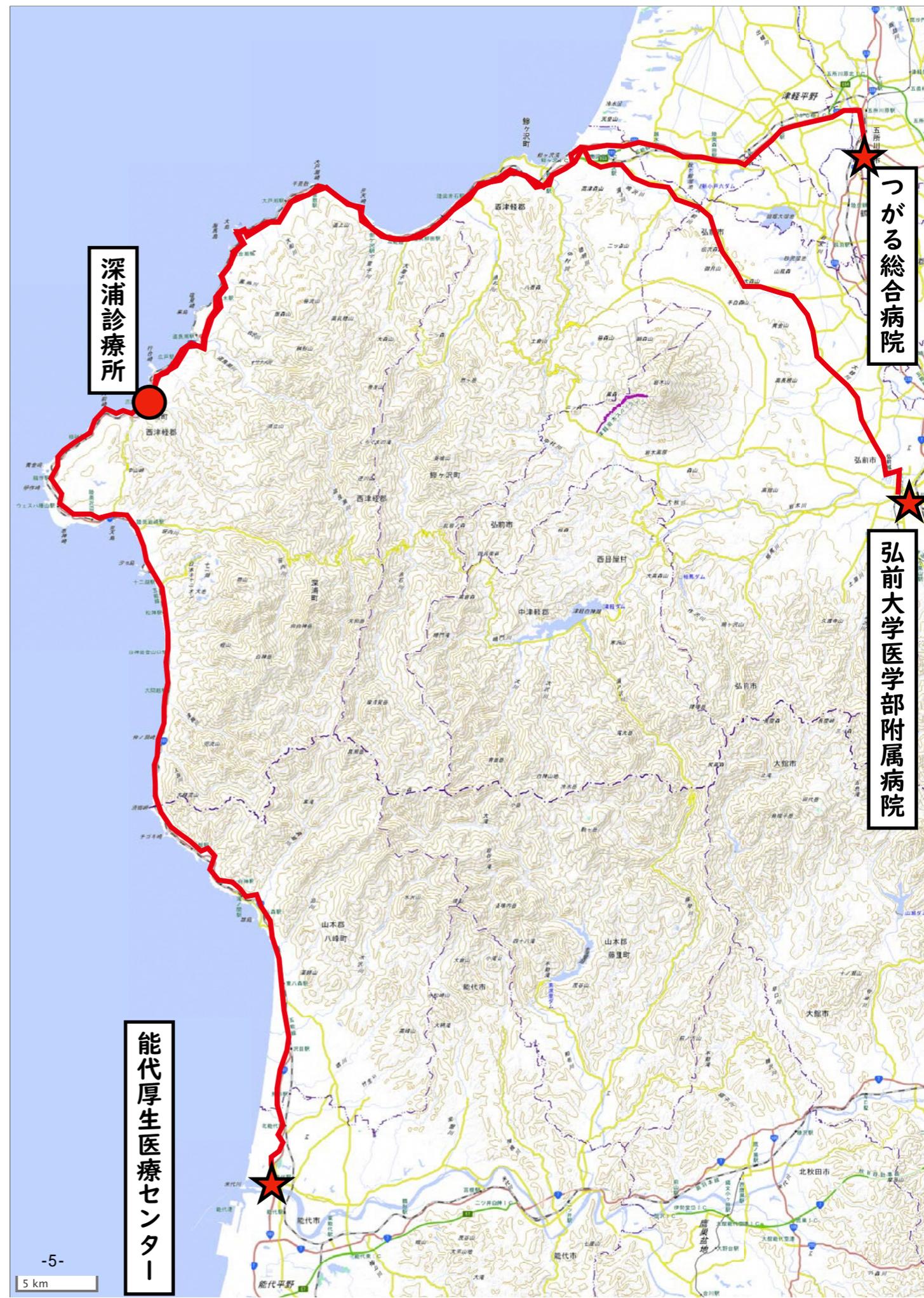
距離 70km

救急車搬送 1時間30分

- 能代厚生医療センター

距離 63km

救急車搬送 1時間20分



自治医大卒医師が派遣されて当然？

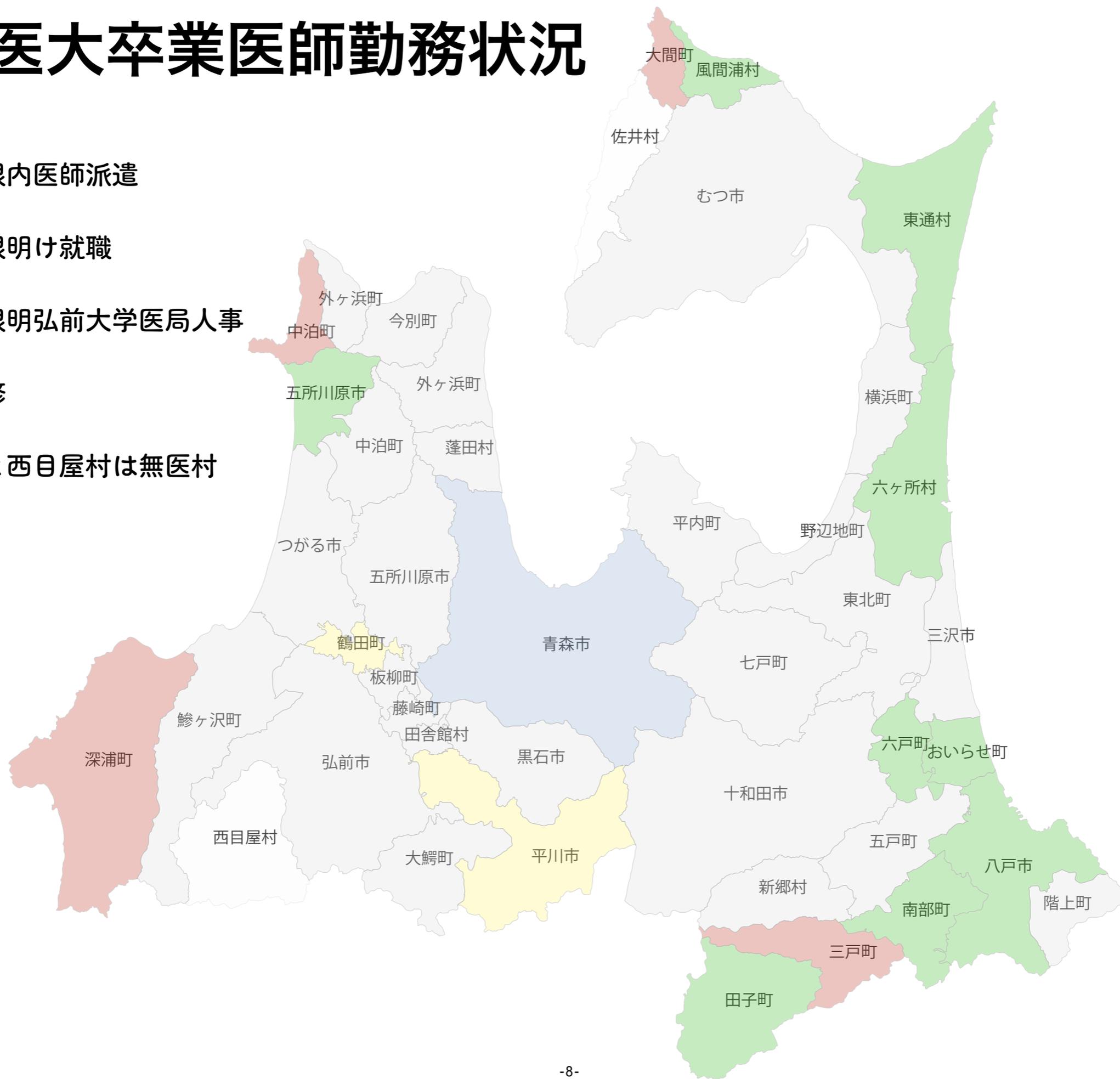
深浦診療所に自治医大卒業生が派遣されるようになるまで

- 1978年 自治医大1期生が卒業
- 1980年 自治医大1期生が地域派遣開始（青森県では、大間病院が最初）
- 2003～2014年 町立診療所（現在の場所とは違う）に大阪からの先生が勤務
後年は肺がんを患いながら勤務し亡くなる
青森県に対し自治医大卒医師の派遣について要望するも叶わず
深浦町には、開業医院2軒
町立診療所には「流しの医者」が立ち替わり勤務
- 2014～2018年 「ハゲタカ医師」が入れ替わり立ち替わり勤務
- 2015年 2軒の開業医院が閉院し、町の医療機関は、町立診療所1箇所のみとなる
2018年から、町の中心部に移転し、新診療所を開設することが決定
青森県に働きかけを行うも、やはり自治医大卒業医師の派遣は叶わず
- 2018年9月 吉岡が勤務開始 強力に青森県への自治医大卒医師派遣働きかけ
- 2023年4月 自治医大卒義務年限内医師の派遣開始

高齢化率順位	町村名	高齢化率	人口	高齢化率×人口 =高齢者数	常勤医師 の数	医師一人当たりの人口	医師一人当たりの高齢者数	街の中心医療機関から直近のカ テーテル治療可能な医療機関ま での距離
1	今別町	55.67	2,379	1,324	2	1,190	662	55.5km
2	外ヶ浜町	50.78	5,448	2,766	8	681	346	31.2km
3	深浦町	50.38	7,421	3,739	2	3,711	1,869	54.7km
4	新郷村	49.5	2272	1,125	1	2,272	1,125	20.9km
5	佐井村	49.5	1,777	880				
6	風間浦村	45.79	1,728	791	1	1,728	791	37.6km
7	中泊町	44.73	10,166	4,547	5	2,033	909	20.2km
8	鯨ヶ沢町	44.43	9,156	4,068	9	1,017	452	20.6km
9	田子町	44.06	5,084	2,240	3	1,695	747	42.4km
10	大鰐町	44.00	8,865	3,901	8	1,108	488	15.2km
11	三戸町	42.31	9,353	3,957	7	1,336	565	30.4km
12	蓬田村	42.17	2,627	1,108	1	2,627	1,108	
13	平内町	41.85	10,332	4,324	8	1,292	540	
14	七戸町	41.58	14,769	6,141	11	1,343	558	12.2km
15	五戸町	40.93	16,260	6,655	15	1,084	444	26.9km
16	西目屋村	40.40	1,289	521				
17	南部町	39.36	17,160	6,754	17	1,009	397	21.1km
18	横浜町	39.21	4,291	1,683	1	4,291	1,683	27.8km
19	野辺地町	39.20	12,526	4,910				30.7km
20	つがる市	38.97	30,525	11,896				
21	板柳町	38.07	12,837	4,887	10	1,284	489	13km
22	東北町	37.92	16,789	6,366	8	2,099	796	18km
23	鶴田町	37.45	12,144	4,548	4	3,036	1,137	6.1km
24	東通村	37.02	6,006	2,223	3	2,002	741	14.4km
25	田舎館村	36.18	7,529	2,724	1	7,529	2,724	9km
26	五所川原市	35.89	52,104	18,700				
27	大間町	35.28	4,912	1,733	6	819	289	44.8km
28	平川市	34.58	30,336	10,490				
29	十和田市	34.36	59,201	20,341				
30	黒石市	34.21	31,824	10,887				
31	むつ市	34.06	54,364	18,516				
32	階上町	34.01	13,006	4,423	2	6,503	2,212	10.7km
	県平均	33.95	1,233,112	418,642				
33	六戸町	33.51	10,869	3,642	4	2,717	911	11.3km
34	藤崎町	32.89	14,627	4,811	15	975	321	11.8km
35	弘前市	32.76	164,831	53,999				
36	青森市	32.01	272,752	87,308				

自治医大卒業医師勤務状況

- 義務年限内医師派遣
- 義務年限明け就職
- 義務年限明弘前大学医局人事
- 初期研修
- 佐井村と西目屋村は無医村



現在はどのような医療を
提供しているか？

現在の医療状況

医療スタッフ

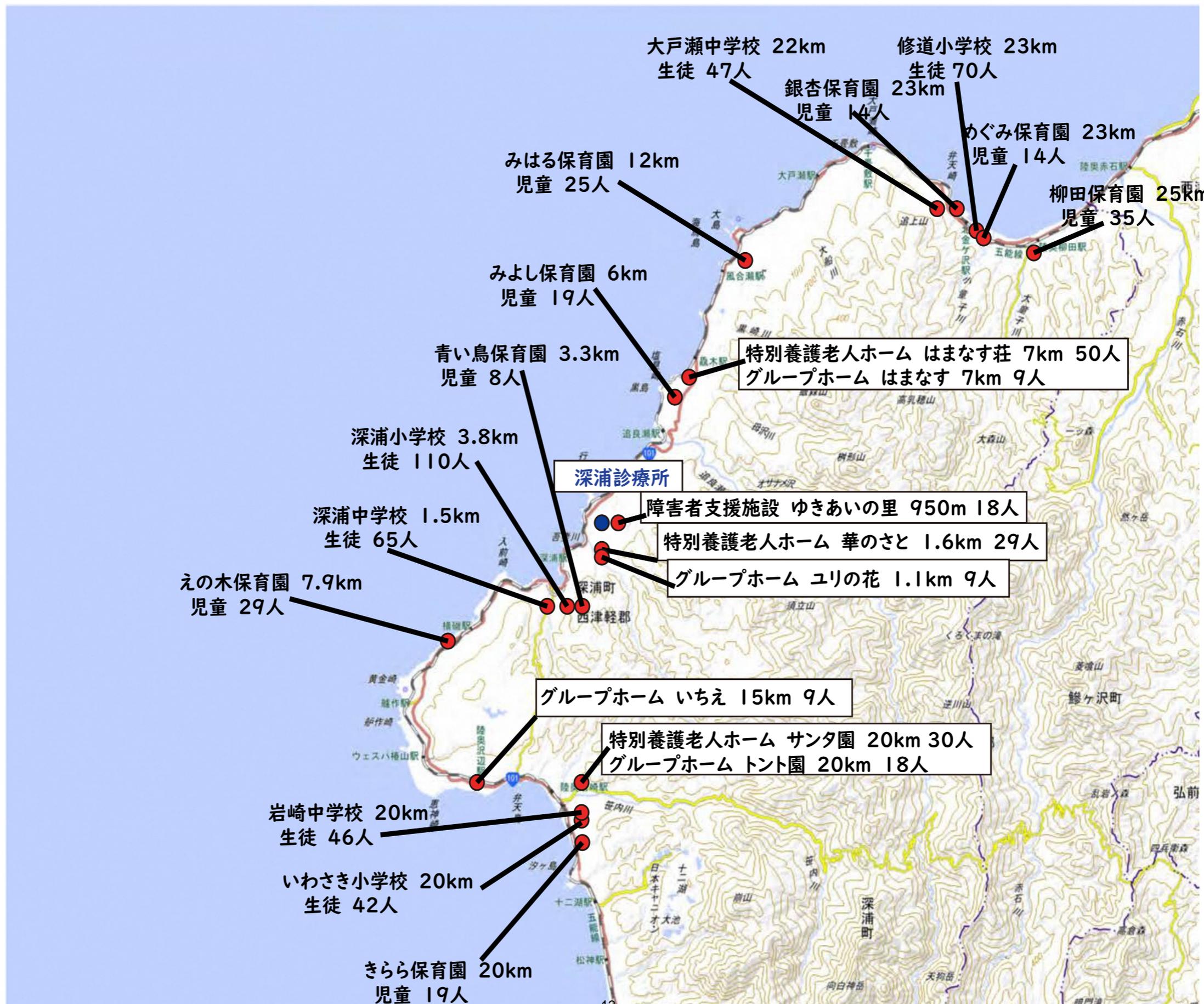
- 常勤医師 2名（吉岡と自治医大卒3年日医師）
- 準常勤医師 1名
 （65歳 淀川キリスト教病院集中治療部定年退職後）
- 非常勤医師 2名（週3回の医師と週2回の83歳の医師）
- 看護職員 正規7名、非正規2名
 （訪問看護ステーション兼務）
- 放射線技師 1名

現在の医療状況

診療状況

- 外来患者数 1日80から120人程度（外来午前3列、午後2列）
- 訪問診療 約10件
- 検査 上部消化管内視鏡、超音波検査、CT、単純X線
- 血液・尿検査 迅速：血液、生化学 その他LSI外注
- 特殊外来 禁煙外来、睡眠時無呼吸症候群
- 施設嘱託医 特別養護老人ホーム3箇所
- 学校医 小学校3箇所、中学校3箇所、保育園8箇所

定期的に訪問診療・定期健診・主治医・嘱託医として関係する学校・保育園・老人施設



特徴

医療面の強化と保健・福祉との連携強化

- 「診療所で相談すれば何とかなる」と思っていたいただきたい。診察の際に受けた医療福祉保健関係の相談はワンストップで受付できるように手配する。
- 「顔の見える関係」は患者とも必要である。町の広報には毎月エッセイ形式で交代で文章を書く。外来の患者の呼び出しは、医師自身で行う。
- 放射線技師は、弘前市から2時間かけて通勤している。休暇をとりやすいように、医師は単純X線、CTを操作撮影できる様にする。
- 後方病院との関係強化のため、可能な限り後方病院での行事には参加する。
- 交代で土日休祭日に待機して、看取りの対応をできる様にする。
- 若い先生の研修は、連続した数日で行ってもらう。
- 在宅緩和ケア連携などの多職種研修には、積極的にチームで参加する。

総合診療医の人数が、
診療所の質を左右する



源通診療所



総合診療医がいないと回らない 出来るだけ質の良い医療を提供したい

- 2019～2020年は、80歳代の先生と2人だけで診療した。体力的には辛かったが、総合診療医同士なので何とか協力して運営できた。
- 臓器専門科しか診ない医師やハゲタカ医師とだったら投げ出して辞めていただろう。
- 事務方（役場からの出向者）、開設者である首長、役場（特に総務課）に理解してもらおう努力が必要。
- 最初から「田舎ではこの程度で良い」と諦めていないか？
- 看取って死亡診断書を書いてくれて、（質は問わず）何でも診てくれればそれで良い、と考えていないか？

絵に描いた餅になりかねない構想

このまま「へき地」が舐められて良いのか？

「地域枠入学者を増やす」	実際的には、へき地診療所レベルでは働いていない。医局人事で町立病院止まり。へき地診療所勤務を希望する人がいても、養成プログラムがないし、受け皿が弱い。
「医師少数区域などでの勤務経験を求める管理者要件」	せいぜい医局人事で町立病院クラスレベルでお茶を濁す。大病院での院長になることを目的としてへき地診療所に勤務しても使い物にならない。
「医師多数県の医師を医師少数県で働くことを義務化する」 「研修医をへき地診療所で働くことを必修にする。」	へき地診療所ではどんな医者でも良いと思っている節がある。研修医レベルで良いと考えるのも同様。常勤者が教育に時間をとられ、かえって忙しくなる可能性がある。
「重点医師偏在対策支援区域」において「経済的インセンティブを講じる」	給料さえ上げれば地域に行ってくれるだろうという考えだろうが、やりがいをもって医療を実践している医者ほど、頭に来るのではないかと。例えば、へき地診療所と契約して月に1回でも眼科、精神科、整形外科などの外来や大腸検査をしてくれるような開業医さんに対しては、確定申告で税の優遇がある様にするなどなら良いだろう。へき地は総合診療科だけで解決できないことも多い。
「地域の中核病院などに助成を行って『医師の増員』を図り、そこから医師の少数区域などの医療機関に派遣してもらう仕組み」	すでに「へき地医療拠点病院」があるものの、その病院でさえも人不足。支援をする側の都合で支援をしているところも多く、必ずしもへき地側の需要や要望に応じた支援がされているとは限らない。助成をするなら、医師少数区域の僻地診療所に直接落とすべきだろう。上記のような施策があり、さらに高額なバイト量がもらえるとなれば、へき地診療所を応援したがる医師も増えるだろう。

地域での医師確保方法の見直し

吉岡でなくても医師の派遣を得られたのか？

- 事務方や地元出身スタッフの考え方を見直し修正するだけで大きく変わる
 - 「県に働きかける」というのを、県会議員や知事を動かすことだと考えていた。
 - 「金を出せば医者集まる」と考えていた。大学への貢ぎ。
 - 「良い医者」＝「長くいてくれる医者」と考えていた。
- 一旦勤務させたらこっちのものと考え、勉強不足により、コンビニ医療を求める傾向。一般住民の要望や、必要性や科学的なエビデンスよりも議員の圧力を優先に実現しようとする。
- 最初から「良い医療」を諦めているし、「良い医療」が何かがわからない。

総合診療思考の医師が増え、
関係多職種で気軽に話ができる環境
ができれば、自ずと良い包括医療が
出来るようになる（はず）

町に一つの医療機関が信頼されれ
ば、住民も多種スタッフも円滑に動
きやすい（今のところは）

講師略歴

吉岡 秀樹（よしおか ひでき）

青森県：深浦町国民健康保険深浦診療所長

◆経歴

- 1992年3月 自治医科大学医学部医学科 卒業
- 1992年6月 青森県立中央病院臨床初期研修
- 1994年4月 一部事務組合下北医療センター国民健康保険大間病院外科医長
- 1995年4月 一部事務組合下北医療センター国民健康保険佐井診療所所長
- 1997年4月 青森県立中央病院地域医療支援部
- 1998年4月 一部事務組合下北医療センター国民健康保険大間病院外科医長
- 1998年4月 弘前大学大学院医学研究科入学（社会人枠）
- 2000年4月 弘前大学医学部附属病院麻酔科・集中治療科
- 2001年4月 青森県立中央病院地域医療支援部
- 2002年3月 弘前大学大学院医学研究科卒業 医学博士授与
- 2002年4月 一部事務組合下北医療センター国民健康保険大間病院副院長
- 2003年8月 一部事務組合下北医療センター国民健康保険大畑病院院長
- 2004年6月 青森県立中央病院救命救急センター副部長
- 2006年4月 自治医科大学医学部総合診療医学教室講師 外務省出向
在モンゴル日本国大使館一等書記官兼医務官
- 2008年5月 青森県立中央病院救命救急センター総合診療部・救急部部長
- 2009年4月 青森県立中央病院救命救急センター総合診療部・救急部・集中治療部部長
- 2010年5月 外務省外務技官医療職
- 2010年5月 在ナイジェリア日本国大使館参事官兼医務官
- 2013年6月 在ウクライナ日本国大使館参事官兼医務官
- 2016年7月 在ネパール日本国大使館参事官兼医務官
- 2018年9月 深浦町国民健康保険深浦診療所所長（現在に至る）
- 2020年4月 弘前医療福祉大学短期大学部救急救命学科非常勤講師（現在に至る）
- 2021年4月 青森中央学院大学看護学部非常勤講師（現在に至る）

診療所が面白い～オンリーワンの〇〇〇〇

大阪府：豊能町国民健康保険診療所
診療所長兼歯科・歯科口腔外科医長
永川 賢治

大阪府北部に位置する豊能町は、標高 200～400mの山間地に広がる町で、人口は約 1 万 7800 人、大阪府内で最も高い高齢化率 50.5%（令和 6 年 12 月時点）を有し、令和 4 年度に大阪府内の過疎地に認定された。町は、昭和 40 年代から宅地開発が進んだ西部地域（町民の約 8 割が居住）と、一次産業を中心とした農村エリアである東部地域に分かれている。両地域は山で隔てられ、東西を直通する道路がなく隣接市町を経由しないと往来できない特異な地形である。バス路線の廃止や減便により、町内交通の確保が課題となっている。また、開業医の高齢化に伴う閉院が相次ぎ、特にニーズの高い整形外科が消失し、ガソリンスタンドの撤退など過疎化による影響が深刻化している。

豊能町国民健康保険診療所は、町の東部地域にあり、内科および歯科・口腔外科を標榜し、大阪府内で唯一歯科を有する国保直診施設である。内科は常勤医が不在のため、市立池田病院および大阪大学医学部附属病院から派遣医師を受け入れ、週 5 回の午前診療および週 3 回の午後診療を実施している。一方、歯科は 2020 年 4 月に私が常勤医として着任し、診療を行っている。診療所は公共施設再編の対象施設となっており、存続は決定しているが、再編後の施設全体像は未だ明確ではない。

赴任当初は新型コロナウイルス感染症の影響で対外活動が制限されていた。しかし、2022 年に「国診協地域医療現地見学会（新潟）」へ初めて参加したことをきっかけに、町内外の保健・医療・介護・福祉関係者との連携を少しずつ構築してきた。その過程で診療内容の充実や保健事業への参加に取り組んできた。また、学校歯科保健活動への関与不足という課題もあるが、行政の協力により改善の兆しが見え始めている。

本講演では、地域における医科歯科連携の重要性や歯科の役割について触れながら、大阪府内唯一の直診歯科として、地域に必要とされる診療所を目指した現在進行形の活動を紹介する。

キーワード

自己研鑽、感染対策、画像機器更新による診断精度向上、訪問歯科診療、口腔外科手術、がん治療サポート、コミュニケーションツール、若手の会（歯科）、新企画の提案、地域食支援、ミールラウンド、減災対策、歯科医師臨床研修医、死について考えるシンポジウム



曲がりくねって、ただいま。

大阪府 豊能町

OSAKA TOYONO TOWN

診療所がおもしろい オンリーワンの～〇〇〇〇～

大阪府・豊能町国保診療所
所長/歯科・口腔外科医長 永川賢治

本発表⁻²²⁻に関して開示すべきCOIはありません

本日の内容

1. 自己紹介
2. 豊能町・診療所の紹介
3. かけだし直診歯科医の日々

自己紹介

1997年 東北大学工学部卒
1998年 海外インターンシップ Mouchel Ltd 英
2000年 東北大学大学院工学研究科修了（津波工学）
2001-2003年 西松建設、アクセンチュア

2004年 徳島大学歯学部社会人編入
2007年 徳島大学歯学部卒業

2007-2009年	神戸市立医療センター中央市民病院	歯科口腔外科	研修医
2009-2014年	市立池田病院	歯科口腔外科	医員
2014-2017年	鳥取赤十字病院	歯科口腔外科	副部長
2017-2020年	市立伊丹病院	歯科口腔外科	医長

2020年～現在	大阪府・豊能町国保診療所	所長兼歯科・口腔外科医長
2024年～	国診協 地域食支援部会委員 / 若手の会（歯科）世話人	



地域医療のロールモデルに出会える機会



全国国保地域医療学会 口腔保健研修会 (2024.10 盛岡)



若手の会（歯科）

豊能町（大阪府豊能郡）

- 人口は約**17800人**
- アクセス
 - 大阪市内：60～70分（車）、50分（鉄道）
 - 2次医療機関（池田市）：30～40分（車）
 - 大阪伊丹空港：50分（車）
- 有床診療所なく隣接市に依存
- 大阪府平均の約5倍のスピードで人口減少し、令和4年**過疎地**指定
- 高齢化率**50.5%** 府内で最も高い



西部地区

医科：8 医院
歯科：6 医院

支所・保健福祉センター

兵庫・川西市

昭和40年台以降開発
ベッドタウン
鉄道、商業施設あり
人口の8割の町民が在住



大阪・能勢町

京都・亀岡市

本庁・診療所

東部地区

当院と1 歯科医院

一次産業中心の農村エリア



大阪・箕面市

豊能町国保診療所



昭和62年竣工（築37年）
（開設年：昭和25年）

診療体制

診療科：内科、 歯科・口腔外科

スタッフ：

内科医師： 非常勤3名（週5回午前診、週3回午後診）

-大阪大学医学部付属病院 医師2名

-市立池田病院 医師1名

歯科医師： 1名（常勤）

看護師： 3名（常勤1名、パート2名）

歯科衛生士： 3名（常勤1名、パート2名）

事務長： 1名（常勤）

事務スタッフ： 3名（常勤1名、パート2名）

診療状況（歯科・口腔外科）

	月	火	水	木	金	土
09 : 00-12 : 00	○	○	○	▲ 第2,4週休診	○	■ 第2,4週診察
13 : 30-16 : 30	○	○	○	▲ 第2,4週休診	○	■ 第2,4週診察

令和5年度 診療実績

- 歯科外来患者数：15～20名／日
- 訪問診療件数：延べ140回（10～15人／月）
- 外来小手術件数：120例（約20%紹介患者）
（智歯、嚢胞、外傷、炎症、歯の再植など）



市立池田病院歯科口腔外科

院外研修 (毎月第2木曜日)



目的：

- ・ 医療情報収集
- ・ 外科手技
- ・ 症例相談
- ・ 雑談

Webベースでの自己研鑽も可能だが見学・実技ができる機会は貴重

外来コミュニケーションツール



テレビモニター

- ・ 画像検査説明
- ・ 表示内容を患者毎に変更
 - 町内風景や植物写真
 - 子供向け写真
 - 教育用画像
 - 学会、旅行写真など

位相差顕微鏡

- ・ 動的な口腔細菌の映像による動機づけ

院内ポスター「歯の本数偏差値」

しっかり咬める「歯」の本数は？ どのレベルを目指す？

	年齢								偏差値	入試難易ランキング (国公立2次試験)
	40歳	50歳	60歳	70歳	75歳	80歳	85歳	90歳		
歯の本数								28本	66	めっちゃすごい！ 東京大学 京都大学 レベル
								27本	65	
								26本	64	
							28本	25本	63	すごい！ 大阪大学 レベル
							27本	24本	62	
						28本	26本	23本	61	優秀！ 神戸大学 大阪公立大学 レベル
						27本	25本	22本	60	
						26本	24本	21本	59	
				28本	28本	25本	23本	20本	58	
				27本	27本	24本	22本	19本	57	有名 国立大学レベル
					26本	23本	21本	18本	56	
				26本	25本	22本	20本	17本	55	
				25本	24本	21本	19本	16本	54	
		28本	28本	24本	23本		18本	15本	53	
			27本		22本	20本	17本	14本	52	
				23本	21本	19本	16本	13本	51	ここをなんとかキープ！
28本	27本	26本	22本	20本	18本	15本	12本	50	平均 レベル	

高齢者では
状態の悪い歯を
早めに抜歯する
ことも、感染予防
やしっかり咬む
ために大切だと
伝えている

失った歯は義歯などを利用して、しっかり咬める歯数を維持していきましょう

ご注意：令和4年歯科疾患実態調査結果を参考に、歯の本数に興味を持って頂く目的のためだけに作成したものです

歯科医療機器更新

関係者のご理解、
ご協力が必要です

地域の歯科医療水準向上には
診断、滅菌、感染対策機器の
充実化が必須



クラスB滅菌器

歯科用CBCT

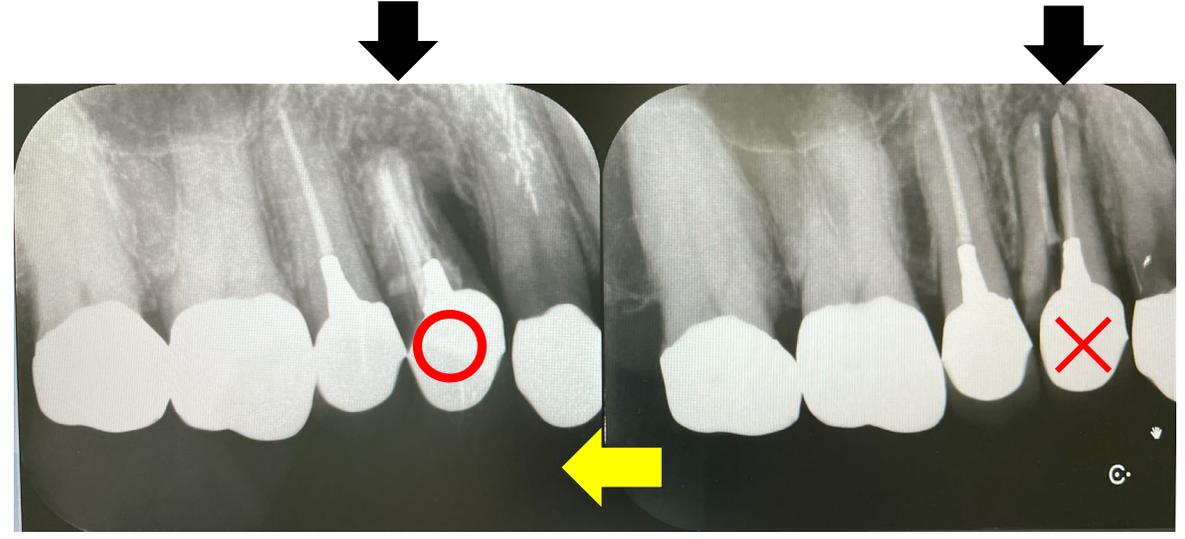
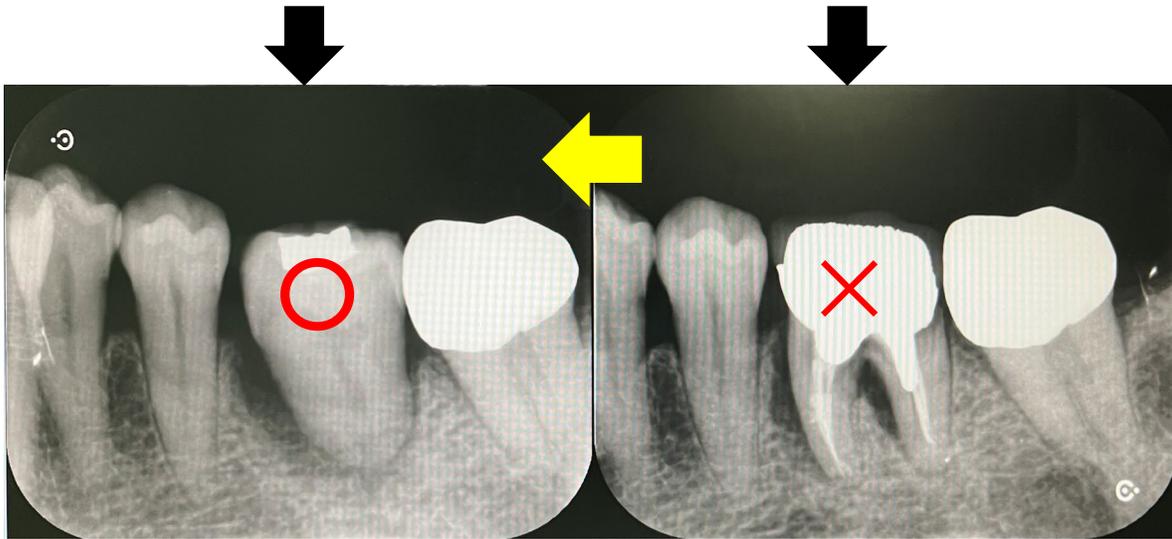
長期観察と患者の信頼を要する小手術症例

反対側の智歯移植

保存困難歯

修復後

破折歯



ダメだと思った自分の歯が残ると満足度が高い
予後不良でも感謝されることがある

がん患者が安心して地域で過ごせるように口腔管理をサポート

口腔管理パッケージ

応急治療

疼痛管理

保湿・保清

摩擦予防

食事

口腔ケアプラン（化学療法） 症状あり～中等症 様用 令和 年 月 日 作成

時刻	歯みがき	ソフトシーネ装着	ネオステリン含嗽	アズノール塗布	口腔保湿ジェル	保湿スプレー	マスク装着	食事・その他	疼痛時
6:00						乾燥時適宜 使用回数は制限なし	口腔乾燥予防に 適宜マスク装着	粘膜に負担になる 食品はなるべく控 える。 例：刺激物、硬い もの、極端に熱い もの 極端に冷たいもの	主治医処方の 鎮痛剤を使用 して下さい。 処方されてい ない場合はご 相談下さい
7:00									
8:00	食事後		○	○	○				
9:00		可能な範囲で装着							
10:00									
11:00									
12:00	食事後		○	○	○				
13:00		可能な範囲で装着							
14:00									
15:00									
16:00				○	○				
17:00									
18:00	食事後								
19:00									
20:00									
21:00									
就寝時		就寝時に装着	○	○	○				
備考	歯ブラシ：やわらかめを使用 歯磨剤：Tooth Paste	就寝前にシーネ内外面にアズノール軟膏塗布	就寝前にも含嗽 歯みがき、うがいに使用する水は生理食塩水を使用する	口唇、口角	化学療法開始後に開始アズノール軟膏で代用可、市販品も使用可。塗布部位：歯と接触する軟組織	口腔内が乾燥しないように気をつけてください。			

注意： 発熱、体調不良、嘔気等がある場合は、無理に行わないようにしてください。
上記の口腔ケアプランについては、入院中の主治医の許可を得てから実施するようお願い致します。
処置内容についてご質問等がございましたら、下記までご連絡下さい。

生理食塩水の作り方
食塩4.5gに水を加えて500mlにする。体温に加温するとしみにくい

連絡先： 563-0219 大阪府豊能郡豊能町余野61-1 豊能町国民健康保険診療所 歯科口腔外科 歯科医師 永川賢治
電話：072-739-0004（平日9時～17時、第2、4木曜日を除く。第2、4土曜日は対応可）
Email：egawa0865@town.toyono.osaka.jp

-36-

夜間・休日連絡先：

訪問歯科診療、在宅食支援の受け皿になる



- 訪問先（町内および近隣市町）
 - 個人宅／住宅型老人ホーム
 - 15名前後／月
- 課題
 - 事業所間での患者情報共有
 - 潜在的患者の拾い上げ
 - 往診時の外来Dr不在

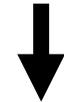


急性期での絶食指示を疑い、
家族と本人の希望がある限り
お楽しみ程度でも経口摂取再開に
こだわる

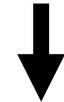
ミールラウンド 障がい者支援施設



食形態を分類対応表に
応じてマッピング依頼



国保診療所との情報
共有に利用

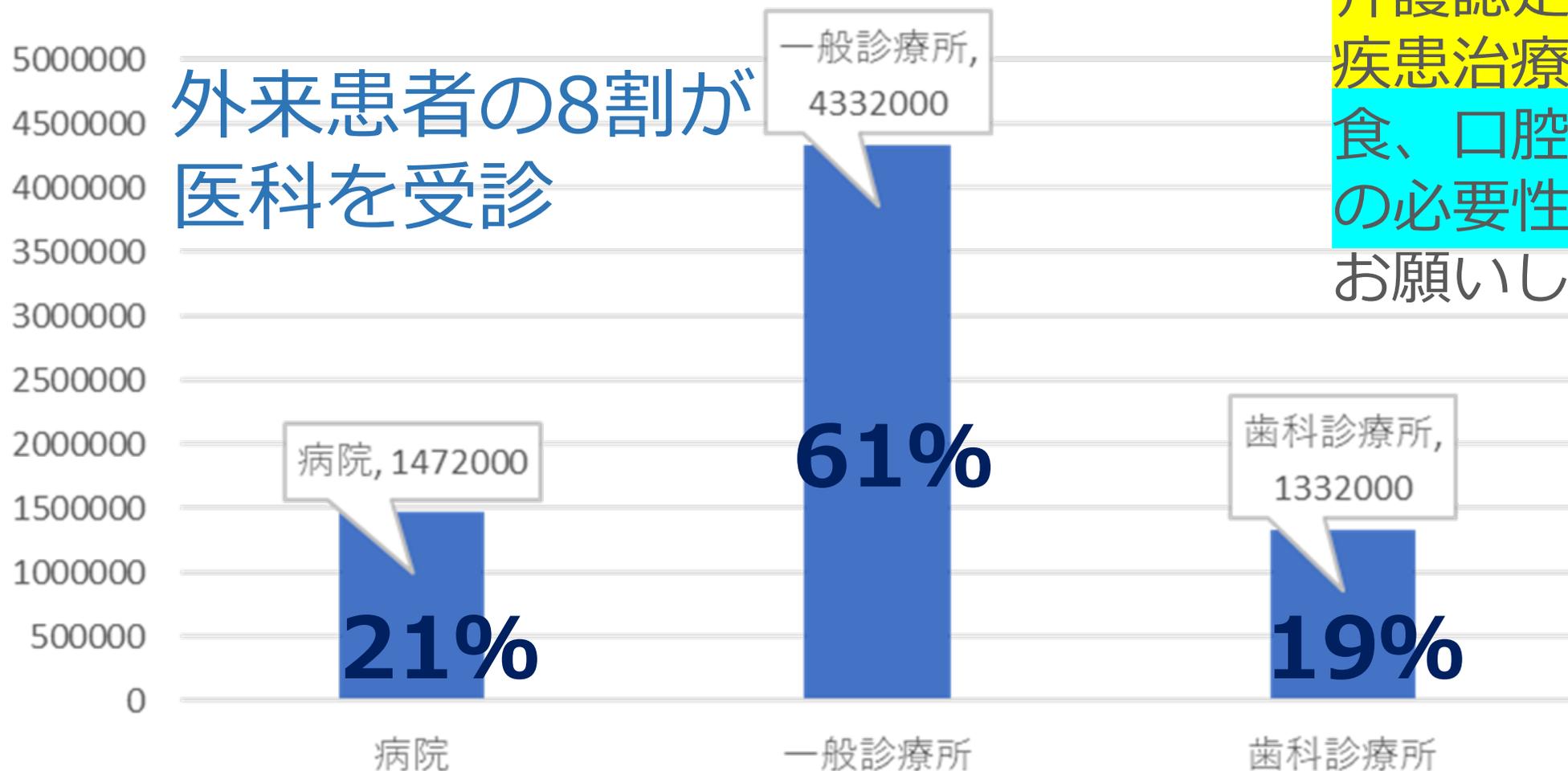


町内の他施設へ展開
していきたい

治療依頼のみであったが、令和6年度より高齢入所者の摂食・嚥下
状態の定期フォローを開始

地域食支援は医科歯科連携で

一日あたり推計外来患者数（人）



外来患者の8割が
医科を受診

ドクターの皆様
主治医意見書
介護認定審査会
疾患治療において
食、口腔管理
の必要性の指摘を
お願いします

国診協を利用して地域食支援を行う

令和5(2023)年度

食支援、介護予防、社会参加を担う
ご近所食事会を普及する事業

公益社団法人全国国民健康保険診療施設協議会

J.N.C.A · Japan National Health Insurance Clinics and Hospitals Association



ご近所食支援アプリ

<https://www.syoku-sprt.com/>

全国の直診施設の好事例 を町の保健事業で活用していく

臨床研修指導歯科医師の資格取得、協力型（Ⅱ）施設として 令和6年度より市立池田病院・歯科研修医の受入れ開始

	12月16日	12月17日	12月18日	12月19日	12月20日
AM	国保診療所 内科・歯科診療見学 訪問診療オリエンテーション、嚥下評価実習	歯科外来実習 障害者施設ミールラウンド見学	訪問看護同行見学	歯科外来実習 訪問診療実習	ふたば園幼児相談見学実習
PM	訪問診療実習	豊能町地域包括医療・ケアシステム説明、保健福祉センター見学、他職種在宅訪問同行見学	口腔機能低下予防訓練指導実習	訪問診療実習	地域包括支援センター事業見学 訪問診療実習



目的：

- ◆ 地域包括医療・ケアシステムを理解する
- ◆ 多職種共働による地域包括医療・ケアの実際を見学する
- ◆ 医療、介護、福祉施設等の特徴を理解する
- ◆ 訪問歯科診療を経験する
- ◆ 歯科保健事業を経験する

研修の様子、感想



福祉



医療

保健・介護

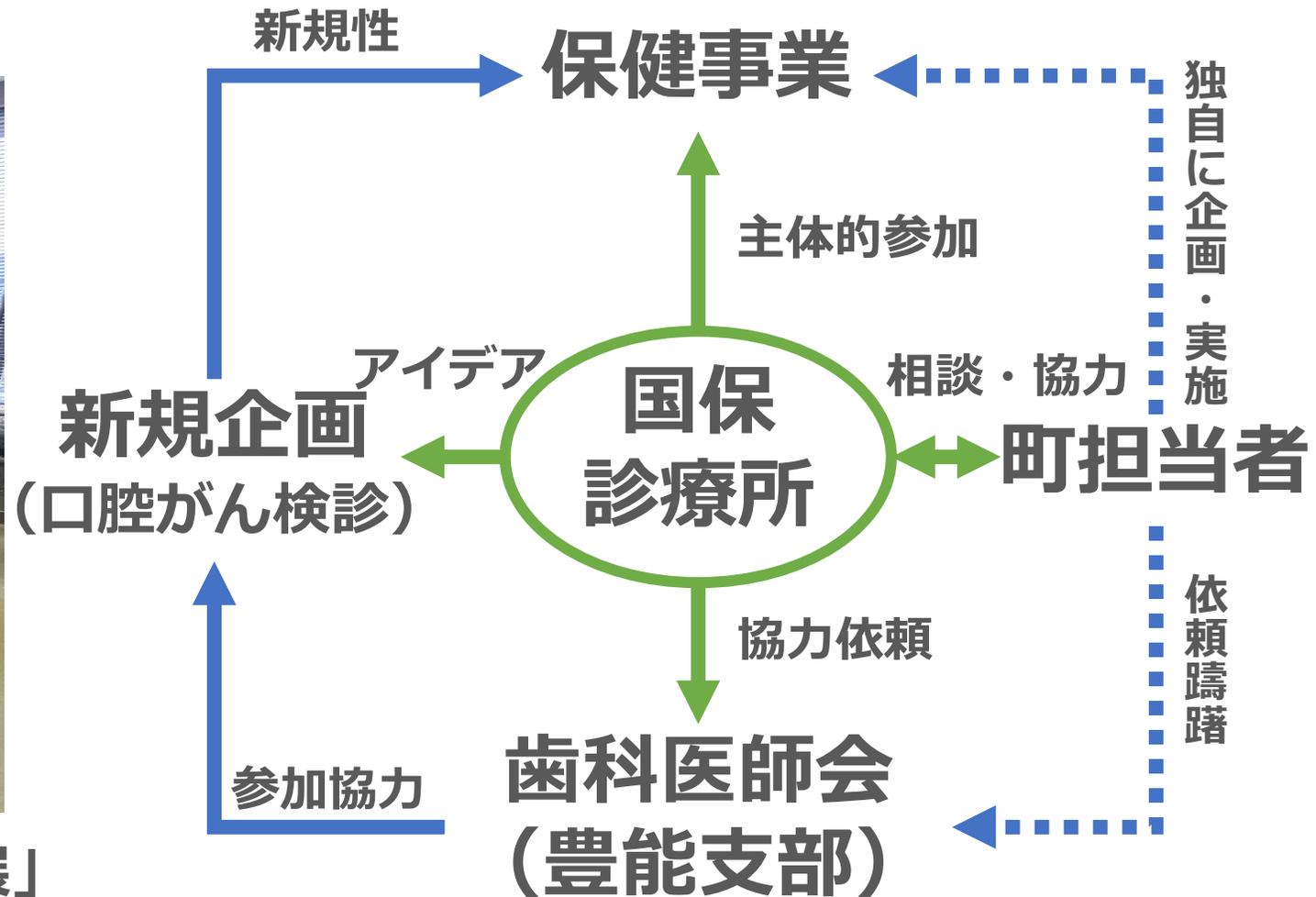


様々な人の協力で成り立つ奥深い地域医療の魅力を歯科研修医に伝えていきたい

専門職と行政職の縁結び役になる



令和6年度 豊能町秋フェス「健康展」



町の減災対策に関わる（住民防災訓練参加）



府の防災計画に基づいた備蓄品、
町内配置場所、避難所運営方法
診療所の役割、各種協定内容の確認



- 担当職員と備蓄品の検討（公助）
- 避難所自主運営研修の提案（共助）
- 個人の備え勉強会提案（自助）

訓練時に町担当者と災害時の医療的対策の課題を共有しやすい
発災前に医療関係者が関わる意義あり

死について考えるシンポジウム (令和5, 6年度実施)

テーマ：

1. 豊能町民の死亡実態調査*結果報告（死亡場所、死亡原因など）
2. 人生会議（アドバンス ケア プランニング）とは
3. 人生会議に基づいた救急現場での心肺蘇生等のプロトコル
4. 訪問診療の実態

死亡実態調査：死亡診断書および死体検案書をもとに作成される死亡小票の一部を国保診療所医師が閲覧、分析

令和6年11月

「死について考える」シンポジウム

- ・自分らしく最期まで生きるために必要なことを考えるきっかけになった
- ・元気なうちに家族と話しておきたい
- ・重いテーマだけど聞いてよかったなど前向きな感想が多かった。

より良く生ききるサポートも大事

ほぼ満員の会場

シンポジウムの様子は
豊能町ホームページにてYoutube配信中

(2026年3月末まで閲覧可)

「豊能町 〇について考えるシンポジウム」

で検索してください

リンク先 : <https://youtu.be/bux1-6EBA4w>



リンク先QRコード

今後の目標

超少子・超高齢社会にむけて

- ・ 世代にこだわらずできる分野からやる
- ・ いろんな人に助けてもらいながら前に進む
- ・ 次世代に貢献する

10年後、20年後、、、

講師略歴

永川 賢治 (えがわ けんじ)

大阪府:豊能町国民健康保険診療所 診療所長兼歯科・歯科口腔外科医長

◆学歴

1997年3月 東北大学工学部 卒業
2000年3月 東北大学大学院工学研究科修士課程(津波工学) 修了
2003年4月 徳島大学歯学部 社会人編入学
2007年3月 徳島大学歯学部 卒業

◆職歴

1998年4月 Mouchel Consulting Ltd (現WSP) UK
2000年4月 西松建設株式会社
2001年1月 アクセンチュア株式会社
2007年4月 神戸市立医療センター中央市民病院 歯科口腔外科 研修医
2009年4月 市立池田病院 歯科口腔外科 医員
2014年4月 鳥取赤十字病院 歯科口腔外科 副部長
2017年4月 市立伊丹病院 歯科口腔外科 医長
2020年4月 大阪府豊能郡豊能町国民健康保険診療所 所長 兼 歯科・口腔外科医長
現在に至る

◆賞罰

2007年3月 三木康楽会賞(徳島大学)

◆著書(分担執筆)

こんなときどうする口腔ケア、Nursing Today Vol24.No12 pp101-102 日本看護協会出版会
日本口腔ケア学会認定資格標準テキスト 問題と解説集 3級・4級・5級、口腔ケア学会
もし周術期口腔管理の依頼があったら、市立池田病院口腔ケアセンターにおける周術期口腔管理の流れ、
日本歯科論評、2013.1

◆論文

動注化学放射線療法を併用した集学的治療が奏功した上顎小細胞癌の1例:永川賢治・大西徹郎・中澤光博・加藤逸郎・雨河茂樹・小川芙美、口腔外科学会雑誌、Vol62.No2 pp67-72, 2016
喉頭部の打撲により長期に嘔声と誤嚥をきたした顎骨骨折の1例:永川賢治・大竹史浩・田村隆行・西尾幸与・小谷勇・谷尾和彦、日本顎顔面外傷学会雑誌、Vol13.No2,pp87-90, 2015
下顎に転移した胃がんの1例:永川賢治・大西徹郎・雨河茂樹・小川芙美 Hosp Dent Oral-Maxillofacial Surg. Vol.24, No.2, pp217-221, 2012

◆所属学会・資格等

日本口腔外科学会専門医
日本がん治療認定医機構がん治療認定医(歯科口腔外科)
日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士
歯科医師臨床研修指導歯科医
産業歯科医
日本救急医学会 ICLS インストラクター
全国国民健康保険診療施設協議会 地域食支援部会 委員
全国国民健康保険診療施設協議会 若手の会(歯科)世話人

診療所が面白い～オンリーワンの〇〇〇〇

都万診療所のここが面白い！

島根県：隠岐の島町国民健康保険都万診療所医師

森江 祥平

2024年4月島根県隠岐の島町にある都万診療所において病診一元化の先駆けとなり若手の総合診療医による改革が始まった。元々島唯一の総合病院である隠岐病院総合診療科で勤務しており、島内の医療問題に頭を悩ませていたが診療所改革を行うことで上流の問題に着手を行なった。まずは隠岐病院に患者が集中しすぎることが問題となっており診療所で完結すべく、他科との連携や情報共有の効率化を行い診療所に通院する患者数を増やすことができた。今後医師が交代する中でも診療の質を保つため既往歴だけでなく生活背景やADLを重視したカルテのフォーマットを作成し、またそれを研修医や医学生に聴取してもらうことで全人的に患者をみるという経験を積んでもらっている。次に地域の障害者施設への介入を行い、施設看護師の負担を軽減することでやりがい増加、離職防止にも繋げることができた。島内でのACPの不足も大きな課題と考え、価値観を引き出したり離島ならではの切り口で話し合いの場を設けている。そして改革だけではなく、より住民に近い目線になるように地域のイベントには積極的に参加をしている。参加することで診療所と住民の距離感が縮まり対話の機会が増えるだけではなく、文化、住民が大切にしていることを知る機会となる。実際に自身も歴史のある古典相撲に参加することで感動を覚え、それまで持っていた健康観が変化したり、今後の医療に対するモチベーションが変化するという貴重な経験ができた。1人の人間として触れ合う機会の多いという点で診療所勤務にとてもやりがいを感じている。



都万診療所のここが面白い！

隠岐の島町国民健康保険都万診療所 森江祥平

自己紹介

森江 祥平

- 出身：島根県松江市
- 出身大学：自治医科大学 島根42期
- 総合診療専門医プログラム
- 隠岐病院総合診療科 兼 都万診療所
- 趣味：野球

- 最近子供が産まれました！





離島発

とって隠岐の

いまずぐ使える!

外来診療

小ワザ 離れワザ

白石吉彦+白石裕子
(隠岐県立総合医療センター)

中山書店



西ノ島町

隠岐の島町



海士町

知夫村



五箇診療所



五箇村

中村診療所



隠岐病院



布施村

西郷町

都万診療所



都万村

開業医

開業医

開業医

都万診療所



都万診療所

- カバー人口 1500人
- 隠岐病院から車で15～20分
- 公民館、役場、特養、小中学校・幼稚園が近接
- 業務：初診、再診、訪問診療、施設の嘱託医、学校検診など
- 医師は加藤、小川、森江の3人体制、看護師は3人

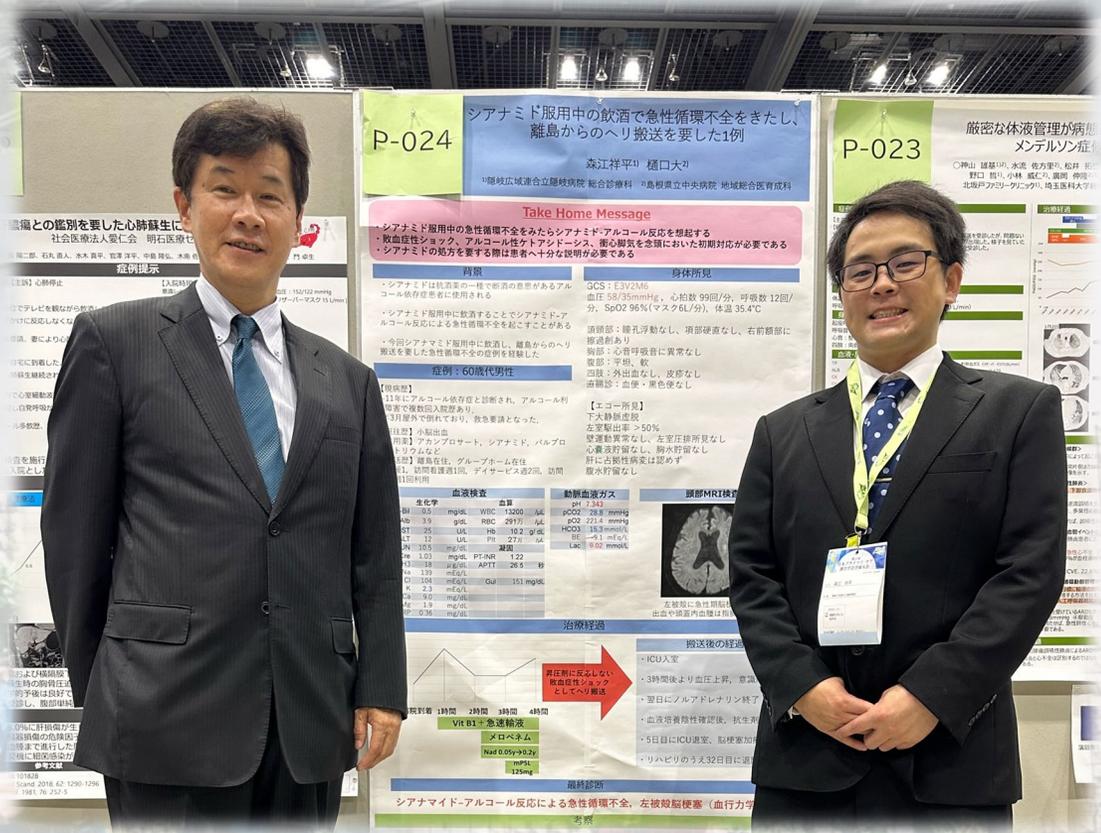
月	火	水	木	金
加藤	小川	森江	小川	森江



自分と都万診療所との関係

- 30年前に義理の父“佐藤勝先生”が勤務されていた。
- 当時の活躍が色濃く残る
- 住民からの信頼が今も厚い

⇒世代を超えて携わることができ
運命的なものを感じる



おもしろポイント①

改革

診療所を変える、地域を変える



隠岐病院について



人口約14000人で離島の**唯一**の病院（115床）

常勤医：20名前後

診療科：総合診療科、外科、小児科、産婦人科、
麻酔科、眼科、歯科口腔外科

総合診療科の概要：

医師：8名（3年目～11年目の医師）

業務：一般外来、**救急外来（1～3次＋本土搬送）**、
病棟管理、**訪問診療、診療所**



								4														
6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
20	4	2	0			57	10	3	3	1			54	10	2	0	2			63	11	1
2	-4	-2	0			1	12	-3	-3	-1			4	12	-2	0	-2			-5	11	-1

外来・入院

主には一般内科＋皮膚科＋緩和

癌（化学療法や緩和など）

心不全

COPD

脳梗塞

生活習慣病

血液疾患

皮膚科疾患 . . .



年間 90件以上の緊急搬送

隠岐病院から見た島内の医療問題

- ・ 隠岐病院と他の診療所で所属が違う
非効率：診療情報の共有は、お手紙・Fax
病院が呼ばれない会議
人事交流がない
一々、紹介料がかかる
- ・ 病院の需要爆発
再診外来が80人超えることも・・・
専門科のニーズが高い
Multiproblem患者の増加
ERの不適切受診
- ・ スタッフの不足・離職
病棟スタッフのほとんどは辞めたい
Nsの不足により病床稼働率を上げれない
病棟で涙を流すNs
施設の医療者確保も困難

- ・ 町や島民との対話不足
島民の理解が乏しい
町と協議する機会は少ない
- ・ 病院や町の長期ビジョンが見えない
今のまま続けることの絶望、不安
- ・ 島内でのACPが不足
病院に来るまでは話をされていないことが多く、
入院後の方針決定に苦慮する。病床圧迫
- ・ 院内での最適の限界
業務の再分配の限界（医師の数と能力の変動）
疲弊したスタッフ
- ・ 院内での意思決定に時間を要する

そんな中、2024年4月から

運営主体一元化に向けて準備を開始します

▶▶▶ **運 営 主 体** 一元化 ◀◀◀
町立診療所 × 隠岐病院

隠岐の島町・隠岐広域連合

隠岐の島町と隠岐広域連合では、隠岐の島町の医療従事者不足や医療機関の効率化への対応について、町内の医療関係者で構成された医療連携体制検討委員会で検討を行いました。その結果、隠岐の島町における持続可能な医療提供体制の整備を図る観点から、運営主体を一元化することが望ましいとの判断に至り、隠岐の島町立診療所等と隠岐広域連合立隠岐病院の運営を隠岐広域連合立に一元化する方向で検討を開始しました。

取り組んだこと

外来数増加に対して

事前に都万全地区への挨拶回り
4月より先立って紹介料免除
障害者施設往診

診療の質向上に対して

エコーの活用（訪問診療や出張診療所も）
採用薬見直し
顕微鏡検査 KOHやG染色
カルテフォーマット
待ち時間対策と詳細なアナムネ聴取のため
の医学生、研修医の外来
モコナビによる隠岐病院カルテの閲覧
嚙下回診

ACP

看取り契約患者との面談
ビックリマンシール作成

業務整理

組織のフラット化
レセプト業務 看護師→医師

広報

Facebook、Instagramでの投稿
写真撮影

取り組んだこと

外来数増加に対して

事前に都万全地区への挨拶回り
4月より先立って紹介料免除
障害者施設往診

診療の質向上に対して

エコーの活用（訪問診療や出
採用薬見直し
顕微鏡検査 KOHやG染色
カルテフォーマット
待ち時間対策と詳細なアナムネ
めの医学生、研修医の外来
モコナビによる隠岐病院カルテ
嚥下回診

ACP

看取り契約患者との面談

過去に自治卒医師の活躍があるため、期待の声が多く
隠岐病院→診療所への紹介が繋がった

コロナ禍では「紹介料」で揉めることや紹介を取り
やめる人がいたが、事前の紹介料免除によりスムーズ
になった

⇒外来数は前年より50～100名/月増加

取り組んだこと

外来数増加に対して

事前に都万全地区への挨拶回り
4月より先立って紹介料免除
障害者施設往診

診療の質向上に対して

エコーの活用（訪問診療や出張）
採用薬見直し
顕微鏡検査 KOHやG染色
カルテフォーマット
待ち時間対策と詳細なアナムネシス
ための医学生、研修医の外来
モコナビによる隠岐病院カルテ
嚥下回診

利用者の高齢化に伴い複数科の受診が必要な利用者が増えている

以前は…

病院受診には看護師のマンツーマンの同行が必要で平均2～3時間かかっていた

⇒施設往診開始後…

- ・看護師不在の時間が**最大で半分削減**できた
- ・利用者へのケアが向上し、支援スタッフの不安軽減に繋がった
- ・職場環境の改善で**スタッフの離職が防げた**

取り組んだこと

外来数増加に対して

事前に都万全地区への挨拶回り
4月より先立って紹介料免除
障害者施設往診

診療の質向上に対して

エコーの活用（訪問診療）

採用薬見直し

顕微鏡検査 KOHやG染色
カルテフォーマット
待ち時間対策と詳細なアナムネ聴取の
ための医学生、研修医の外来
モコナビによる隠岐病院カルテの閲覧
嚥下回診

ACP

看取り契約患者との面談

隠岐病院に採用薬の広報

オグサワ、DOAC、SGLT-2、骨粗鬆症
薬などの見直し
整形の慢性腰痛や骨粗鬆症の紹介も増
えた

取り組んだこと

外来数増加に対して

事前に都万全地区への挨拶回り
4月より先立って紹介料免除
障害者施設往診

診療の質向上に対して

エコーの活用（訪問診療や出張診療所も）
採用薬見直し
顕微鏡検査 KOHやG染色
カルテフォーマットやサマリの作成
待ち時間対策と詳細なアナムネ聴取のため
の医学生、研修医の外来
モコナビによる隠岐病院カルテの閲覧
嚥下回診



広報

Pa

写真

生活歴やADLなど含めた医療情報をフォーマット化し、医師が代わっても必要な情報を引継ぐ

取り組んだこと

外来数増加に対して

事前に都万全地区への挨拶回り
4月より先立って紹介料免除
障害者施設往診

診療の質向上に対して

エコーの活用（訪問診療や出張）
採用薬見直し
顕微鏡検査 KOHやG染色
カルテフォーマット
待ち時間対策と詳細なアナムネシス
ための医学生、研修医の外来
モコナビによる隠岐病院カルテの閲覧
嚙下回診

ACP

moconavi RDS
by Splashtop

ノンストレスの画面転送方式
No.1リモートデスクトップ

moconavi RDS
by Splashtop

サーバー・初期費用不要で簡単導入
いつでも、どこからでも、社内のシステムに安全アクセス

30日間無料トライアルを試してみ

お問い合わせ

特長 価格表・機能 moconavi連携 導入事例 ご利用の流れ FAQ ブログ



⇒情報連携の強化、紹介のハードルが下がる

取り組んだこと

都万診療所 Dr. 小川

都万診療所 Dr. 森江

ACP
実施
年月日

ACP
実施
年月日

ACP

看取り契約患者との面談
ビックリマンシール作成

業務整

ネットプラットフォーム化

業務 看護師→医師

医療者と患者・家族との齟齬がないように
カルテの記載場所がすぐにわかるような
シールの配布

おもしろポイント②

地域との交流

文化を見る、体験する



ウルトラマラソンに参加！

50kmをギリギリで走破



施設の方から激励をもらう



18th 隠岐の道
ウルトラマラソン

2025.6.15(SUN)
100km/AM5:00 50km/AM11:30

島を盛り上げる時が来た

MENU

エントリーはこちら

申込期間 2025年2月1日(土) 0:00 ~ 3月3日(月) 23:59まで

相撲に参加！



隠岐古典相撲とは

- 島内でお祝い事があった際に開催される
- 地区ごとに力士を出す
- 島を挙げて夜通し取り組みが行われる
- 必ず1勝1敗になる＝人情相撲

今回は12年ぶりの開催
計200人の力士が参加





1ヶ月前から稽古が始まる

隱岐古典相撲

9 / 14 - 9 / 15



相撲を通して得たもの

- 知名度UP(NHKに取材されました→)
- 住民との繋がり
- 医療へのモチベーション



ご清聴ありがとうございました



Facebook



Instagram

隠岐病院 島の医療人育成センター

講師略歴

森江 祥平 (もりえ しょうへい)

島根県:隠岐の島町国民健康保険都万診療所医師

◆経歴

2019年3月 自治医科大学医学部 卒業
2019年4月 島根県立中央病院初期臨床研修医
2021年4月 隠岐広域連合立隠岐病院総合診療科
2023年4月 島根県立中央病院地域総合医育成科
2023年10月 隠岐広域連合立隠岐病院総合診療科
2024年4月 隠岐の島町国民健康保険都万診療所 兼任
現在に至る